

# おみやげは、「新たなえにし」 + α o(^o) (o^o) (o^o)

## ◆「えにし」出生の秘密◆

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会は、2001年5月12日、プレスセンターで誕生しました。制度や予算の壁にぶつかりながら道を切り開いている当事者や現場スタッフ、現場に学んで制度や政策をつくらうとしている行政官や首長、勉強熱心なメディア、研究機関のみなさん、あわせて、450人。私が大阪大学大学院にうつることを励ましてくださる集いでした。ところが、私には電話1本で助言してくださる方々が、お互い見知らぬ人w(° o°)w。この日、不思議な「えにし」が結ばれ、毎年、「新たなえにしを結ぶ会」が開かれることになり、第16回を迎えました。

## ◆「えにし」のホームページと「えにしメール」と◆

志をつなぐ道具は、えにしのHPと「えにしメール」、そして、年に1度の「えにし」のつどいです。「えにしメール」には2つの“特技”があります。1つは、マスメディアでは報じられないこともお知らせできること。スポンサーも上司もいないのでのびのびと、でも、正確を旨としてお送りしています。もう1つは、メルマガと違って、発信するだけでなく、「志の縁結び係&小間使い」として、志をともにする方や分野を繋ぐことです。2001年には30通だったのが、いまは、7000通を超えました。米、英、仏、独、伊、スイス、北欧4か国諸国、オランダ、ベルギー、マレーシア、ルアンダ、韓国、フィリピン、ラオス、そして日本の友人知人が読んだり、転送したりしてくださっています。

## ◆『誇り・味方・居場所～私の社会保障論』を、ことしだけのおみやげに◆

今年ご参加のみなさま「だけ」にプレゼントさせていただく本の第1部は、えにしのHP上のメルアドに突然いただいたメールがきっかけで始まった連載がもとになっています。「なぜ人間だけがケアをするか」を考えて書いた第1章も、えにしメールのご縁でした。第3章は「悪性リンパ腫、夏は越せないかも」と90歳の母が診断され、取り乱して書いた「えにしメール」に寄せられたお励ましとお知恵で、独り暮らしの母を看取ることができた5年間の記録です。

お励ましの1つ、目が見えず耳も聴こえない東大教授、福島智さんからのメールをお裾分けしますね。

「人生にはときとして、他のすべてをなげうってもかまわない、むしろそうするのが当然な時間というものがあると思います。どうぞ、おかあさまとすごされる時間を歳優先にお考えください」。

## ◆糸へんづくし◆

胸元の名札の上下、このページの上下の縁飾りにお気づきになりましたか？ 拡大すると、

縁…絆…縁…絡…縁…紡…縁…編…縁…網…縁…繫…縁…繰…縁…札…縁…紀…縁…紗

「縁」という字のあいだに糸へんの字がはさまれています。「えにし」のグラフィックデザイナーの牧ロー二さんが、つどいがスタートしたときに、デザインしてくださいました。こんなメッセージが添えられていました。

「人間っていろんな糸へんが絡みあい、紡ぎあって、編まれているんですね。ネット（網）とか、繫がるとか。人と人の絆や縁に不思議なパワーを感じています。どうぞいつまでも継続していただけますように。結び。ナンチャッテ」。

糸へん飾りのついた名札は、ケースからはずして、記念に、どうぞ(^\_-)☆。